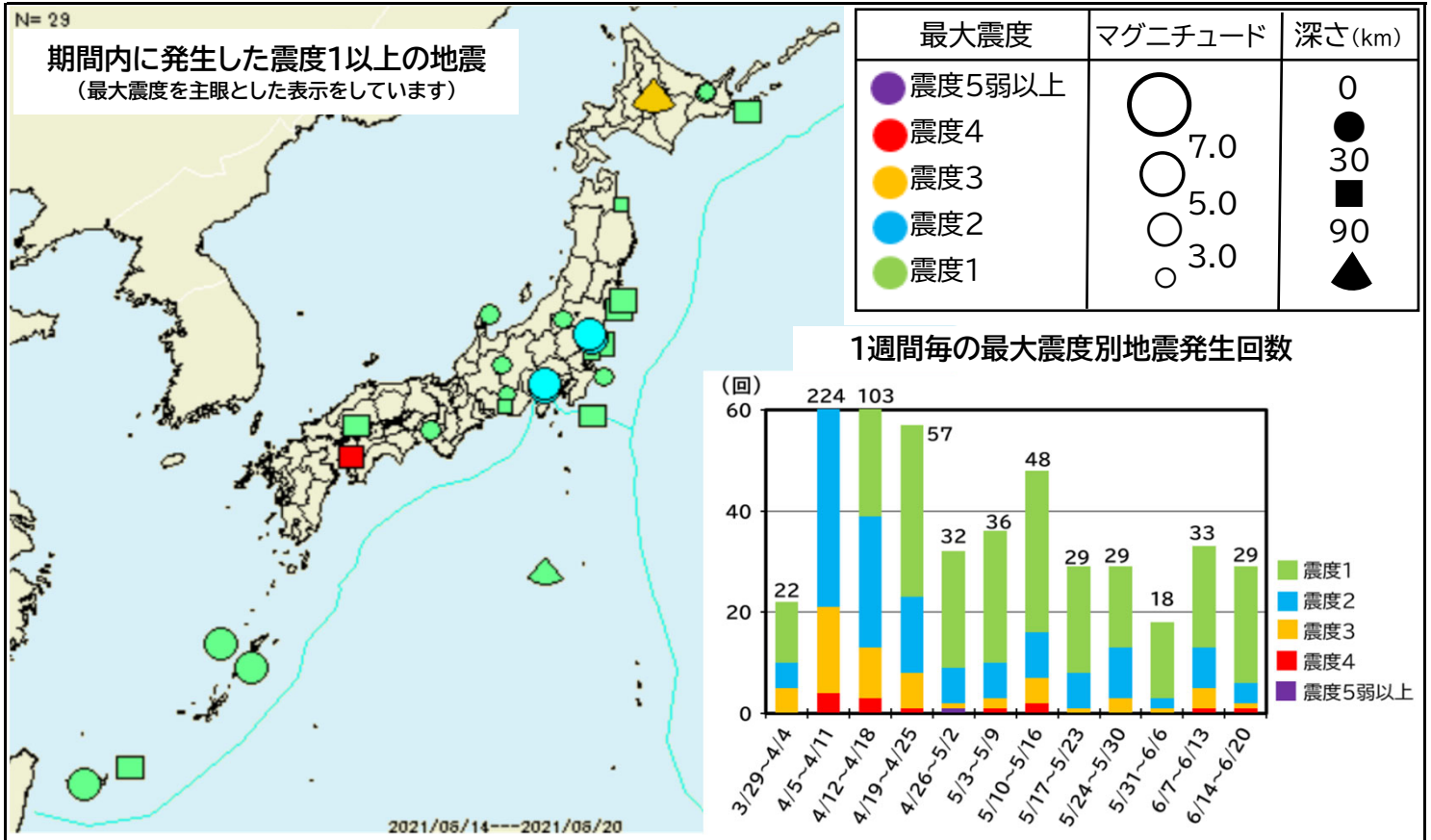


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が29回発生。最大震度は4(愛媛県) ■
- ・19日07時39分に愛媛県南予で発生した地震(M4.7、深さ42km)により、愛媛県宇和島市で震度4を観測したほか、兵庫県・中国地方・四国地方・九州東部で震度3~1を観測。この地震は、太平洋沖合いの南海トラフから四国・中国地方に沈み込んでいるフィリピン海プレートの内部で発生した正断層型(トピックス参照)。
- ・20日20時08分に上川地方中部で発生した地震(M5.4、深さ160km:速報値)により、青森県階上町で震度3を観測したほか、北海道東部~岩手県にかけての太平洋沿岸部を中心に震度2~1を観測。この地震は千島海溝から北海道の下に沈み込んだ太平洋プレート内部で発生した。この地震は、震央に近い北海道よりも遠く離れた青森県で最大震度を観測するなど太平洋側で震度が大きくなる特徴が見られる「異常震域」といわれている。(本資料No.16参照 http://www.npo-cemi.com/earthquake/no016_20200323.pdf)

トピックス

■ 四国西部の地震活動 ■

- ・四国地方には、南東の方向からフィリピン海プレートが年間約5cmの速さで近づいており、南海トラフから四国地方の下へ沈みこんでいる。この動きが四国地方の地震を発生させる原動力となっている。
- ・今回発生した地震付近では定常的に規模の小さな地震が発生しているが大きな被害は知られていない。
- ・1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震近辺では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2015年7月24日に発生した地震(M4.6、深さ44km)では、西予市で震度4、宇和島市等で震度3を観測している。
- ・近年発生した地震で被害を伴ったのは、1968(S43)8月6日に宇和島湾付近で発生した地震(M6.6、深さ39km)により宇和島市と大洲市で震度5を観測。負傷者22人、家屋損壊7棟の被害が発生している(日本被害地震総覧より)。

